

令和元年度 社会資本総合整備計画 事後評価概要調書

計画ととりまとめ課	港湾局港湾経営部整備計画課	要素事業所管課	港湾局港湾経営部整備計画課
-----------	---------------	---------	---------------

1 計画の概要

計画の名称	利用しやすく安全で憩いというおいのある港づくり (防災・安全)	計画の期間	平成27年度～ 令和元年度
計画の目標	川崎港における物流機能及び防災・減災機能の維持・強化を図るために、以下のことを実施する。 ①既存の係留施設、外郭施設及び臨港交通施設等の改良等を行い、施設の延命化、利用者の利便性及び安全性の向上を図る。 ②大規模地震時において、市内陸部への緊急物資等輸送機能を確保するために、関連施設の改良を行い、耐震性の向上を図る。 ③津波・高潮時において、市民の生命と財産を守るために、海岸保全施設の改良を行う。 ④東扇島地区の岸壁を改良し、通常時ならびに災害時における物流機能の強化を図る。 ⑤港湾施設の長寿命化に向けた維持管理計画の策定を行う。 ⑥海岸保全施設の長寿命化に向けた維持管理計画の策定を行う。		
計画の成果目標(定量的指標)	① -1 A2-002 臨港道路東扇島水江町線(直轄事業)の整備に伴う、現道の代替機能及び緊急物資等輸送機能を確保するため、臨港道路の改良工事実施率を高める。 ① -2 A2-001、003、005～012 係留施設、外郭施設及び臨港交通施設における、施設の使用制限及び休止率0%の維持をする。 ② A2-004 大規模地震時において、市内陸部への緊急物資等輸送機能を確保するため、関連施設の改良工事実施率を高める。 ③ A9-015 津波・高潮時において、被害を防止するため、海岸保全施設の改良工事実施率を高める。 ④ A2-014 通常時及び災害時における物流機能の強化を図るため、岸壁の改良工事実施率を高める。 ⑤ A2-013 港湾施設についての維持管理計画策定率を高める。 ⑥ A9-016 海岸保全施設についての維持管理計画策定率を高める。		
計画変更を行った場合、変更内容の概要	港湾施設の機能維持及び延命化や津波高潮による被害の軽減を図るため、要素事業(長寿命化計画の策定)の追加等を行った。また、事業の優先順位等を踏まえ、全体事業費の見直しを行った。		

2 社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況(概要)

事業の区分	主な事業名	計画事業費		執行額(千円) (評価時)	進捗率 (%)	事業進捗状況の概要
		当初(千円)	評価時(千円)			
A (基幹事業)	海底トンネルの改良 臨港道路の改良 埠頭内道路の改良 物揚場改良(千鳥町ABC物揚場) 岸壁改良(東扇島21号～30号) 岸壁改良(東扇島3号～9号) 護岸改良(東扇島護岸) 物揚場改良(千鳥町北西物揚場) 物揚場改良(小島新田物揚場) 長寿命化計画策定 緊急物資等輸送路の改良 海岸保全施設の改良	10,053,000	9,323,000	3,083,651	33.1	(主な完成事業) 緊急物資等輸送路の改良 長寿命化計画策定 物揚場改良(小島新田物揚場) 物揚場改良(千鳥町北西物揚場) 建築物撤去
B (関連社会資本整備事業)						
C (効果促進事業)	油流出防止施設の整備	137,000	43,000	42,416	98.6	(完成事業) 油流出防止施設の整備
全体事業費(A+B+C)		10,190,000	9,366,000	3,126,067 【財源内訳】 国:1,325,383 市:1,800,684	33.4	

3 計画に記載した評価指標の目標値の実現状況

評価指標の名称、内容	① -1 臨港道路東扇島水江町線（直轄事業）の整備に伴う、現道の代替機能及び緊急物資等輸送機能を確保するため、臨港道路の改良工事実施率を高める。			
定義及び算定式	改良工事の実施率は、臨港道路の改良工事全体延長のうち、改良工事が完了した割合 改良工事の実施率＝（改良工事完了延長／改良工事全体延長）×１００			
その指標を設定した理由	改良工事の進捗に関する指標として、達成率を設定した。			
当初現況値 (H27)	中間目標値 (H29 末)	最終目標値 (H31)	実績値(確定・見込)	目標達成状況
7 %	6 0 %	1 0 0 %	2 8 . 1 %	未達成（見込）
目標達成状況に対する所見	本事業は、関連事業や関係者調整等により、目標の達成に至らなかった。			
将来の見込み	今後も引き続き、関係者と調整を図りながら、改良工事を推進する。			

評価指標の名称、内容	① -2 A2-001、003、005～012 係留施設、外郭施設及び臨港交通施設における、施設の使用制限及び休止率 0 % の維持をする。			
定義及び算定式	休止率等は、係留施設、外郭施設及び臨港交通施設の全体施設数のうち、使用制限及び休止施設の割合 休止率等＝（使用制限及び休止施設数／全体施設数）×１００			
その指標を設定した理由	港湾荷役機能の確保に関する指標として、使用制限及び休止率を設定した。			
当初現況値 (H27)	中間目標値 (H29 末)	最終目標値 (H31)	実績値(確定・見込)	目標達成状況
0 %	0 %	0 %	0 %	達成（見込）
目標達成状況に対する所見	限られた厳しい予算状況において、劣化状況等を考慮して優先順位をつけ、既存施設の延命化に向けた改良工事（防食等）を実施することができた。			
将来の見込み	施設の機能維持及び施設の延命化に向けて、今後も適切に維持管理を実施していく。			

評価指標の名称、内容	② A2-004 大規模地震時において、市内陸部への緊急物資等輸送機能を確保するため、関連施設の改良工事実施率を高める。			
定義及び算定式	改良工事の実施率は、緊急物資輸送路における必要対策箇所のうち、改良工事が完了した割合 改良工事の実施率＝（改良工事完了箇所数／改良工事全体箇所数）×１００			
その指標を設定した理由	改良工事の進捗に関する指標として、達成率を設定した。			
当初現況値 (H27)	中間目標値 (H29 末)	最終目標値 (H31)	実績値(確定・見込)	目標達成状況
0 %	1 0 0 %	1 0 0 %	1 0 0 %	達成
目標達成状況に対する所見	緊急物資輸送路において、液状化発生に伴う埋設物付近に発生する段差による走行支障の改善対策に向けた工事の実施が完了したため、目標を達成した。			
将来の見込み	震災時に液状化現象が発生した際、埋設物付近に発生する段差抑制効果が発揮されるため、緊急物資輸送路の機能確保が可能となることが見込まれる。			

3 計画に記載した評価指標の目標値の実現状況（続き）

評価指標の名称、内容	③ A9-015 津波・高潮時において、被害を防止するため、海岸保全施設の改良工事実施率を高める。				
定義及び算定式	改良工事の実施率は、必要対策施設数のうち、改良工事が完了した割合 改良工事の実施率＝（改良工事完了箇所数／改良工事全体箇所数）×１００				
その指標を設定した理由	改良工事の進捗に関する指標として、達成率を設定した。				
当初現況値 (H27)	中間目標値 (H29 末)	最終目標値 (H31)	実績値(確定・見込)	目標達成状況	
１７％	６０％	１００％	４７．２％	未達成（見込）	
目標達成状況に対する所見	限られた厳しい予算状況において、予算配分等の結果、目標の達成に至らなかった。また、当該施設に隣接する地権者との調整に時間を要したものの、調整が整った施設から順次、改良工事を実施することができた。				
将来の見込み	次期社会資本総合整備計画においても、引き続き陸間改良を実施し、高潮・津波被害の防止を図っていく。				

評価指標の名称、内容	④ A2-014 通常時及び災害時における物流機能の強化を図るため、岸壁の改良工事実施率を高める。			
定義及び算定式	改良工事の実施率は、岸壁の改良工事全体延長のうち、改良工事が完了した割合 改良工事の実施率＝（改良工事完了延長／改良工事全体延長）×１００			
その指標を設定した理由	平成 26 年に実施した港湾計画改訂時に、耐震強化岸壁として整備することが位置づけされたため。			
当初現況値 (H27)	中間目標値 (H29 末)	最終目標値 (H31)	実績値(確定・見込)	目標達成状況
０％	５０％	１００％	０％	未達成
目標達成状況に対する所見	限られた厳しい予算状況において、計画内の他の事業への予算配分等の結果、目標の達成に至らなかった。			
将来の見込み	今後は、当該事業の内容や実施方法等について検討し、状況に応じて工事を実施していく。			

評価指標の名称、 内容	⑤ A2-013 港湾施設についての維持管理計画策定率を高める。			
定義及び算定式	維持管理計画の策定率は、港湾施設のうち、維持管理計画を策定した割合 維持管理計画の策定率＝（策定施設数／全体施設数）×１００			
その指標を設定 した理由	千鳥町および東扇島の臨港道路の維持管理計画策定は、交付金事業として実施可能な期間が、平成 29 年度 までであったため。			
当初現況値 (H27)	中間目標値 (H29 末)	最終目標値 (H31)	実績値(確定・見込)	目標達成状況
０％	１００％	１００％	１００％	達成
目標達成状況に 対する所見	維持管理計画が策定されたことにより、予防保全的に施設の維持管理をすることが可能となった。			
将来の見込み	計画的な点検診断・補修等を実施し、適切な維持管理を行っていく。			

評価指標の名称、内容	⑥ A9-016 海岸保全施設についての維持管理計画策定率を高める。			
定義及び算定式	維持管理計画の策定率は、海岸保全施設のうち、維持管理計画を策定した割合 維持管理計画の策定率＝（策定地区数／全体地区数）×１００			
その指標を設定した理由	海岸法改正により、海岸保全施設の維持管理に関する規定が明言化されたことにより、交付金事業として実施可能な期間が、平成 28 年度～平成 30 年度と設定されたため。			
当初現況値 (H27)	中間目標値 (H29)	最終目標値 (H31)	実績値(確定・見込)	目標達成状況
０％	５０％	１００％	１００％	達成
目標達成状況に対する所見	維持管理計画が策定されたことにより、予防保全的に施設の維持管理をすることが可能となった。			
将来の見込み	計画的な点検診断・補修等を実施し、適切な維持管理を行っていく。			

4 事業効果の発現状況（計画で設定した以外の数値的・定性的な評価指標によるもの）

評価指標の名称、内容	劣化部補修工事や防食工事等による効果 【海底トンネルの改良、港湾施設の延命化】
定義及び算定式	老朽化に起因する海底トンネルや係留施設における事故発生件数
指標とする理由及び計画において設定した評価指標との関連性	海底トンネル等の機能について、効果を表す指標として、老朽化に起因する事故発生件数を設定した。（※指標①－②と関連）
評価指標の実績値を含む効果の発現状況	計画期間中において、老朽化に起因する海底トンネルや係留施設における事故発生件数ゼロを達成した。

評価指標の名称、内容	海岸保全施設の改良による効果 【海岸保全施設の改良】
定義及び算定式	海岸保全施設に起因する市内陸部への浸水発生件数
指標とする理由及び計画において設定した評価指標との関連性	海岸保全施設の機能について、効果を表す指標として、市内陸部への浸水発生件数について設定した。（※指標③と関連）
評価指標の実績値を含む効果の発現状況	計画期間中において、海岸保全施設からの市内陸部への浸水発生件数ゼロを達成した。

5 市民・事業者に対する意見募集・説明・調査の状況

意見募集・説明・調査の内容、手法、実施期間	○意見募集：①市民の皆さまを対象にアンケート調査を実施 ②社会資本総合整備交付金対象事業の実施に係る事業者を対象にヒアリング調査を実施 ○調査内容：整備計画の目標に定められた7項目に対する評価について、アンケートおよびヒアリング調査を実施 ○公開場所：市政だよりへの掲載、各区役所、情報プラザ、ホームページ、港湾局整備計画課（川崎駅前タワー・リパークビル20階）、港湾局港湾管理課（川崎マリエン） ○手 法：担当課への意見書（アンケート）の持参、郵送、FAX、メールによる提出 ○実施期間：8月21日（水）～9月20日（金）
意見募集・説明・調査の結果	① アンケート調査結果 ・目標、整備方針を実現し、魅力ある地域実現に期待しています。 ・老朽化が進み、改修が必要な場所は計画的に実施して下さい。また、インフラ整備は地域発展の要となりますので、積極的に投資をお願い致します。 ・防災、安全の観点から、港湾・海岸施設は非常に重要な役割を担っていますので、次年度も引き続き事業の推進をお願いします。 ・過去に関東でも津波が来襲した事を踏まえ、川崎港の津波高も見直すべきです。地盤の嵩上げ等実施してはどうでしょうか。 ② ヒアリング調査結果 ・計画に対する進捗について、実際に個々の事業がどのくらい進んでいるのかがわかりづらい。 ・全体の進捗率として6割程度は超えるよう努めてほしい。 ・計画で実施している箇所以外にも老朽化している箇所が見受けられることから、補修等を実施して欲しい。

6 今後の方針等

総合的な所見	・交付金事業の成果については、国からの配算額の減もあり、当初計画で予定していた事業費よりも執行額は大きく減少したものの、計画内で優先順位を付けて、事業を推進することで、目標の一部を達成することができました。 ・港湾施設については、臨港道路の改良および緊急物資輸送路の改良により、物流・防災機能の強化、また、係留施設・臨港交通施設等の長寿命化に向けた取組の実施により、経済活動の持続性を確保することができました。 ・海岸保全施設については、陸開改良および防潮堤改良を行い、陸開閉鎖作業員の安全性が向上しました。
今後の方針 次期計画 あり・なし	・川崎港における物流機能及び防災・減災機能の維持・強化を図るため、引き続き臨港道路の改良等を推進していきます。（物流・防災機能の強化） ・海岸保全施設の改良等、大規模地震や津波高潮への対策を推進していきます。（防災・減災対策） ・長寿命化計画等に基づき、予防保全的に対応するため、計画的かつ効率的に施設の改良を実施していきます。（老朽化対策）